



第 4 号

平成 17 年 11 月 30 日

発行

朝日庄内森林環境保全
ふれあいセンター

ウッドフェスティバル2005 鶴岡農林水産まつり に出展

10月1,2日に酒田市で開催されたウッドフェスティバルと10月15,16日に開催された鶴岡農林水産まつりに出展し、活動内容などのパネル展示と山の銘水の試飲コーナーを設け、当センターのPRを行いました。

山の銘水は、大朝日岳の金玉水と銀玉水、以東岳の碧玉水、鳥海山麓の胴腹の清水をセンター職員と巡視員が協力して取水(各26リットル)したもので、両方のイベントでおよそ800人が試飲しました。



(山の銘水に外国人も感激)



(家族そろって見学)

日向川河口の海岸林整備活動を実施

11月12日、遊佐町日向川河口左岸のクロマツ林の保育活動を、自治会や万里の松原に親しむ会など34名が参加して行いました。

作業を行ったクロマツ林は、クズなどのつる類やニセアカシアなどが繁茂しており、参加者は鎌などで、クロマツに巻き付いているクズを取り除いたり、鋸でニセアカシアなどの不要木を伐るなどの作業を約2時間行いました。



(刈払い作業)



(作業後の林内)

高館山でナラ枯れ被害見学会を開催



(林田助教授からの説明)



(防除作業体験)

10月29日に鶴岡市の高館山で、山形県内で急速に被害が拡大しているナラ枯れの被害状況の見学と説明、防除体験を地元自治会、自然保護団体、学生など15名が参加して行いました。

講師には高館山でナラ枯れ被害の調査研究に取り組んでいる山形大学林田助教授をお願いし、被害発生メカニズムや被害状況、防除方法・時期・効果などについて説明を受け、実際の防除作業を体験しました。

クリーンアップ作戦 を実施

10月8日、遊佐町の日向川河口左岸のクロマツ林のクリーンアップ作戦を昨年に引き続き開催しました。今年は、県の呼びかけで「クリーンアップ・ザ・庄内海岸」として、庄内海岸の5箇所で一斉に行う一つとして開催しました。

自治会やボランティア団体など60名が参加して、林内や砂草地に散乱している漂着ゴミなどを回収し、その量は可燃ゴミ:580kg、廃プラ等:1.6m³となりました。



(回収作業)



(集合写真)

第4回森林倶楽部を支援 -錦に彩られた中央蔵王をまるごと堪能-

10月1日、今年度第4回森林倶楽部が会員36名が参加して実施されました。

刈田岳駐車場で開会式を行い、トレッキング開始、お釜を眺めながら熊野岳を目指し、熊野岳山頂から地蔵岳を経てザンゲ坂を下り昼食。午後からは蔵王中央高原を散策し、中央ロープウェイで蔵王温泉に下り、温泉浴で疲れを癒し、全員無事に帰路につきました。



(お釜をバックに記念撮影)

高館山で環境美化活動を実施

9月23日、鶴岡市の高館山で、大山公園愛護会、尾浦の自然を守る会などから14名が参加し、環境美化活動を行いました。

高館山では、松くい虫被害木やナラ枯れ被害木の処理に用いられた被覆ビニールが目立つようになってきたために、景観と自然を守る観点からボランティアによる環境美化活動を行ったものです。



(回収作業)



(記念撮影)

インターンシップ受け入れ -信州大学から2名-

8月24日から30日の7日間、信州大学の学生2名が農林水産省就業体験実習を当センターで行いました。

朝日山地森林生態系保護地域では、大鳥池、小朝日岳方面の巡視活動と標識の設置を、庄内海岸林では、ボランティアによる保育作業を、緑の回廊では、スキー場跡地の植生調査を、高館山自然休養林では、巡視活動という広範なフィールドで多様な業務に取り組みました。

また、最終日には庄内海岸林の保育作業に参

加した浜中小学校6年生との交流会が追加され、子供たちから「森林に興味を持った理由は」などの質問に答えていました。

当センターでの一週間の業務体験を今後の大学生活に活かしてもらいたいものです。



(標識設置)



(植生調査)



(海岸林保育作業)



(小学生と意見交換)

インドネシアからの研修員受け入れ

JICAの国際協力事業の一環として、インドネシア林業省の国立公園事務所長ら4名が8月30日から5日間の日程で山形森林管理署と当センターで研修を行いました。

当センターでは、研修後半の9月1、2日の2日間行われました。

最初に、大江町の大頭森山から朝日山地森林生態系保護地域を遠望し、事務所では業務の概要と森林生態系保護地域の管理手法について説明と意見交換を行いました。

翌日は、月山ブナ林施業公園を散策し、ブナの種子や稚樹の発生状況、二次林の生育状況を見学しました。午後は、庄内海岸林に移動し、万里の松原に親しむ会の三沢会長から活動状況について説明を受け、意見交換と現地を探索しました。研修員からは会が発足した経緯や運営方法などの質問を受けました。



(業務概要説明)



(ブナ林での説明)



(三沢会長からの説明)



(万里の松原で記念撮影)

朝日小4年生 ブナ林を体感

9月7日、朝日小学校4年生の総合学習の一環で、ブナ林について調べるグループ(4名)が当センターを訪れ、ブナ林の役割などについて説明を受け、15日には中台池周辺のブナ林で、林内を歩いて感触を確かめたり、ブナの種子を拾ったりしました。



(ブナの種子拾い)



(ブナ林での説明)

朝日山地森林生態系保護地域 モニタリング調査 行われる

入林による影響について、山菜の採取、溪流釣りの二つの行為の影響を評価するため平成15年度から5年間の調査を行っています(委託調査)。9月に森林植生と溪流魚(2回目)の調査を行いました。

また、7月27,28日には、森林植生の追加予定箇所の踏査を行いました。



(溪流魚捕獲状況)



(森林植生追加予定箇所踏査)

浜中地区で海岸林整備活動を実施

8月27日、酒田市浜中のクロマツ林の整備活動を浜中小学校6年生と父兄、自治会など約60名が参加して行いました。

参加者は鎌などを使って、ニセアカシアや雑草、クロマツに巻き付いているつるの刈払いを行いました。

なお、今回の活動が浜中地域での最初のボランティアによる森林整備活動で、来年度以降についても継続していきたいと考えています。



(浜中小刈払い作業)



(参加者全員で記念撮影)

庄内海岸林整備活動を支援

当センターでは、中高校などが行う森林整備活動に関係機関・団体と連携してスタッフを派遣するなどの支援を行いました。

《遊佐中学校「インターンシップinゆざ」》

9月14日、3年生189名が十里塚地区のクロマツ林で下草刈りや不要木の伐採などを行いました。



《酒田工業高校「エコアクション活動」》

9月22日、1年生202名が、学校周囲のクロマツ林の下刈りとニセアカシアなどの不要木を伐採しました。



《酒田市都市公園等美化活動》

9月24日、庄内海岸のクロマツ林をたたえる会、万里の松原に親しむ会、地元自治会などから約110名が参加し、万里の松原一帯の下刈りやゴミ拾いを行いました。

《酒田市・粟庄内総合支庁「砂防林を育てよう」》

11月20日、飯森山地区のクロマツ林の整備作業が小学生から大人まで合わせて約170名が参加して行われた。参加者は6班に分かれ、枝打ち、つる切り、下刈り、間伐作業を行いました。



《酒田中央高校「クロマツ林を守ろう」》

11月22日、3年生184名が校舎東側の万里の松原で健全な針広混交林へ誘導するために、下刈り、つる切り、除伐などの作業を行いました。



朝日山地森林生態系保護地域 合同パトロールを実施

7月30日(土)と31日(日)、巡視員と国有林職員との合同パトロールを昨年に引き続き実施しました。

今年は、溪流を加えた4コース(泡滝～大鳥池、古寺鉱泉～大朝日岳、針生平～平岩山・大朝日岳、朝日俣沢)を巡視員19名、国有林職員13名の総勢42名で、登山者へのマナーガイド配布、ゴミの回収、植物の盗掘の有無、登山道の状況把握などを中心にパトロールを行いました。

また、針生平～大朝日岳コースは1泊2日、その他は日帰りで行いました。



(大鳥池コース:マナーガイド配布) (古寺コース:避難小屋前で集合写真)



(針生平コース:道標の補修) (朝日俣沢コース:奥の魚止めの滝)

どのコースも、ゴミは少なく、植物の盗掘もなく、登山道の整備状況も大旨良好でしたが、大鳥コースでは、ショートカット箇所が、針生平コースでは注意を要する箇所などが報告されました。

また、朝日俣沢(禁漁)への入渓者は見られませんでした。

編集後記

既にお知らせしていますが、当センターの事務所が一時移転ということになってしまいました。このことを主な理由に発行が遅れました。

さて、今年の雪は早いのか遅いのかなどと思っているうちに、11月20日には湯殿山や蔵王などでは仮オープンできるくらいの積雪。

去年のような大雪はいりません。ほどほどに願いたいものです。

第2回クロマツシンポジウムに参加

11月19日、酒田市総合文化センターで、先人が公益の精神で植林した歴史的遺産である庄内海岸のクロマツ林を未来に引継ぐために、公益の森づくりの関係者が一堂に会し、海岸砂防林を守り育てる機運を住民運動として盛り上げるシンポジウムがNPO 法人庄内海岸のクロマツ林をたたえる会の主催で開催されました。

県内外から約300人が参加し、小中学校の事例発表や韓国の松林事情の紹介、海岸林学会韓国大会の報告などが行われました。



(海岸林学会報告)

(クロマツの歌合唱)

猛禽類に配慮した森林施業 の現地検討会に参加

10月18日、真室川町及位(のぞき)で、クマタカの生息環境と林業との関係について学ぶ現地検討会が、山形森林管理署最上支署の主催で行われました。

県や市町村、林業関係者など41名が参加し、希少猛禽類研究家の今井正氏を講師に、クマタカの生態、最上地方のクマタカの生息状況、林業との係わり等の説明と営巣木の観察を行いました。また、列状間伐の実施状況やテレメトリー調査についての説明がありました。



(営巣木の観察)

(列状間伐箇所)

発行

東北森林管理局
朝日庄内森林環境保全ふれあいセンター
〒997-0412
山形県鶴岡市本郷字水の上2-1
庄内森林管理署 田麦俣・大鳥合同森林事務所内
TEL: 0235-58-1806 FAX: 0235-58-1731
E-mail: t_syounai_f@rinya.maff.go.jp
ホームページ: <http://www.fureai-kokuyurin.jp>